

# 【未来に向かう『心』】小郡市教育委員会から保護者の皆様へ

小郡市では、「自律」「共想」「郷生」の3つのキーワードから、子どもたちの『未来に向かい 未来を拓く力』を育んでいます。今回は、市内全小・中学校で実施した「小郡市生活アンケート」の結果の概要と、今後の取組についてお知らせします。

## 「小郡市生活アンケート」とは?

「小郡市生活アンケート」とは、以下の内容について、子どもが「そう思う」「だいたいそう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」の4つから選択する調査のことです。

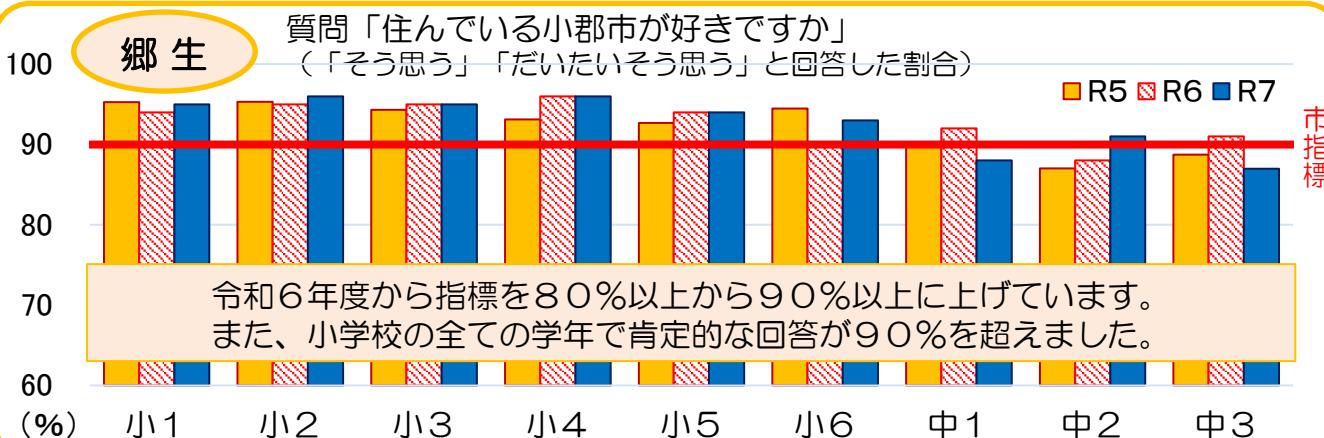
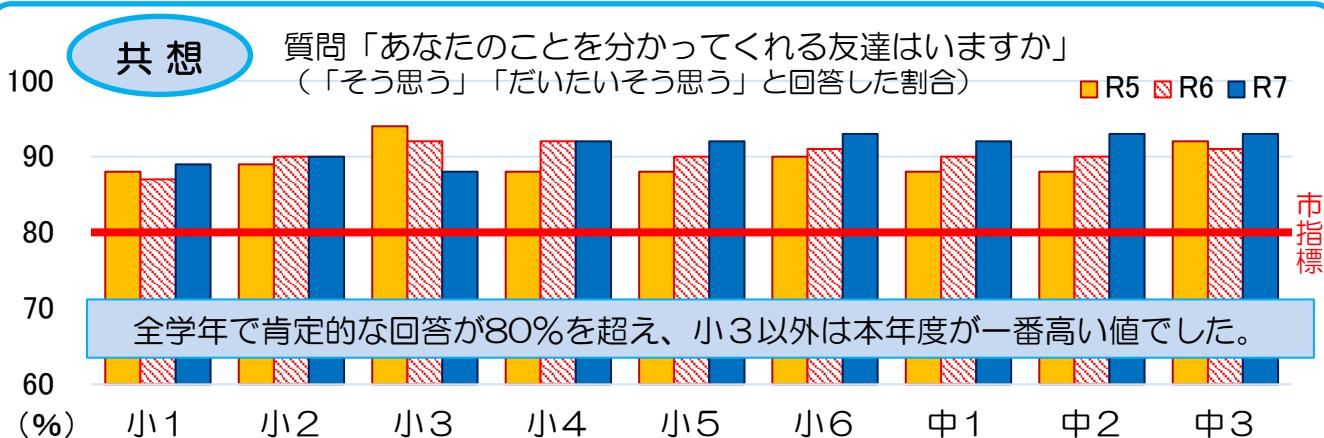
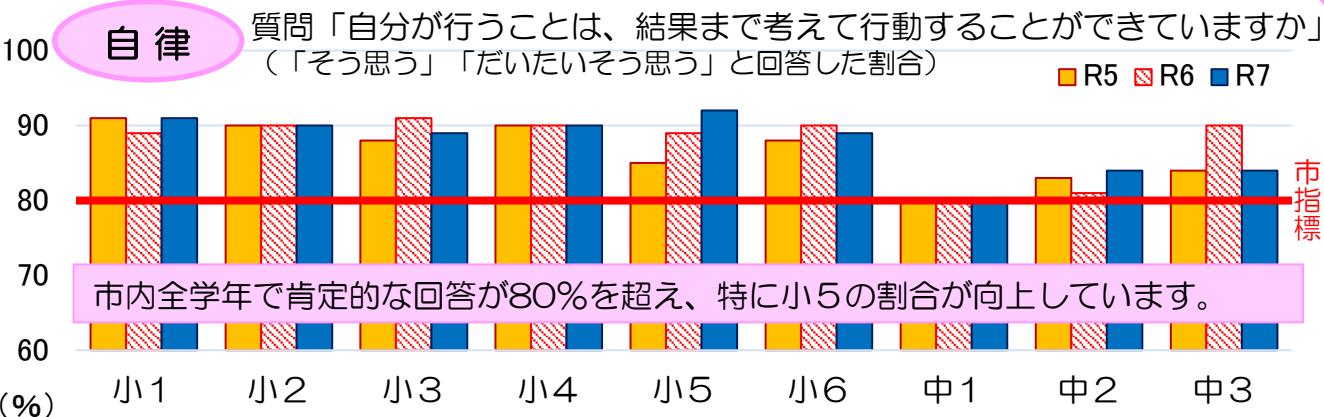
### 内容

- 「正直、誠実」など、小・中学校で行われている道徳科の学習のねらいに関すること
- 「学校生活が楽しい」などの規範意識に関すること
- 「小郡市が好き」など、小郡市教育施策指標に関すること
- 「学校や家庭で決めたルールを守っている」など、情報モラルに関すること



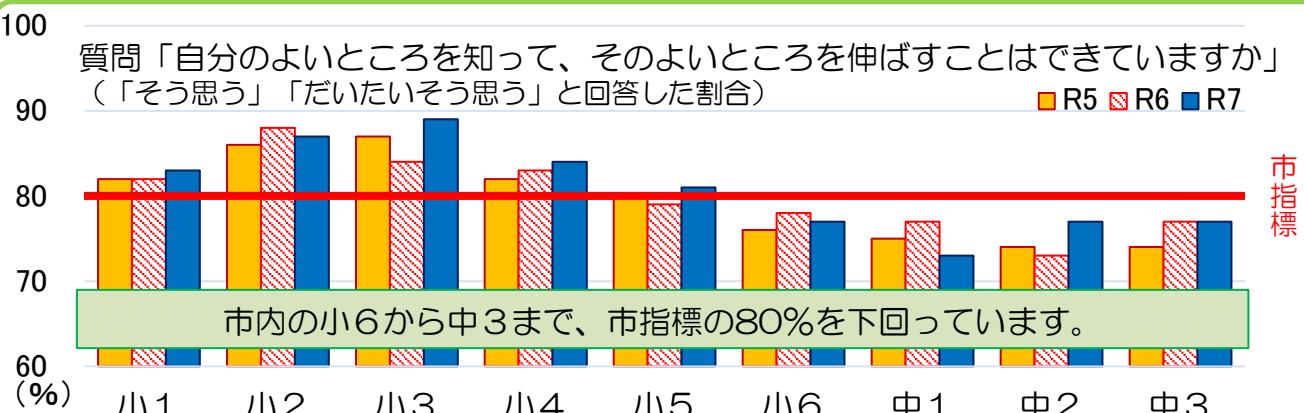
## 育っています、小郡市の子どもたちの心

夢や希望に向かって粘り強く進もうとする「自律」、人とつながりあって心を動かせる「共想」、豊かな郷土をつくろうとする「郷生」の心が、以下のような項目で伸びています。このことは学校、家庭、地域による、子どもたちのよさを認める肯定的な関わりや、各校区の特色やよさを生かした「ふるさとカリキュラム」の充実等の成果だと言えます。ご支援をありがとうございます。



# 子どもたちの『自己肯定感』について

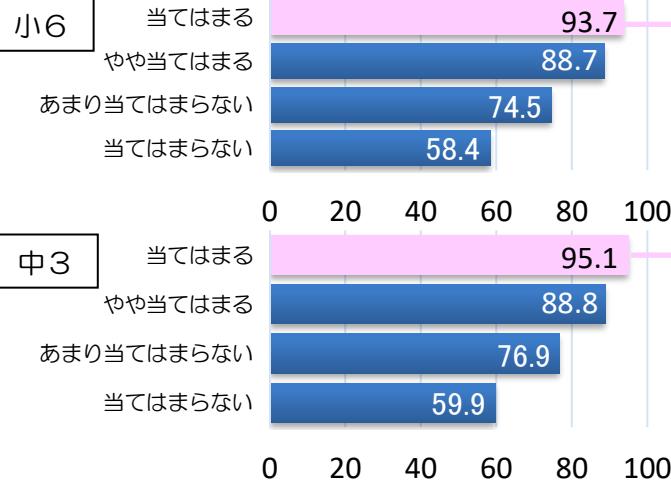
下のグラフは、【向上心、個性の伸長】に係る質問への回答です。いわゆる『自己肯定感』の低さは、本市だけでなく、福岡県の課題としても挙げられています。そこで、児童生徒の『自己肯定感』について、令和7年度に福岡県教育委員会が作成した「調査結果報告書」のクロス分析を基に、授業での「主体性」との関係や、『自己肯定感』を高めるためのポイントについて考えてみましょう。



質問①「5年生（1・2年生）までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」



質問②「自分にはよいところがあると思う」（肯定的な回答の割合）



質問①に「当てはまる」と回答した小6児童のうち、93.7% 中3生徒のうち、95.1%は、

質問②「自分にはよいところがあると思う」に肯定的な回答をしています。

小・中学校ともに、授業で主体的に学んでいる子どもは、「自分にはよいところがある」という『自己肯定感』が高いことが分かります。

このように、授業での「主体性」と『自己肯定感』には大きな関係が見られます。学校でも家庭でも、子どもの自己選択や自己決定の場を大切にし、子どもが自分のよいところを認めてもらえる環境づくりを行い、子どもの『自己肯定感』を高めたいと思います。

小郡市の子どもたちの「未来に向かう心」をさらに伸ばすために、小郡市・学校・家庭・地域が共通理解のもとで、さらに連携・協働した取組となるようご協力をお願いします。

## 市の取組

～未来へ向かう「心」を育むために～

- ☆子ども一人一人が目標に向かい繰り返し挑戦する『子どもの主体性を重視した教育』を進めます。
- ☆道徳科の授業づくりに係る研修会を実施します。
- ☆情報モラル教育基底カリキュラムを浸透させます。

## 学校の取組

～子どものよさや可能性を伸ばすために～

- ☆不安や悩み、相談事に耳を傾け、支える生徒指導を大切にし魅力ある学校づくりを進めます。
- ☆子どもの自己調整を位置付けた「主体的・対話的で深い学び」を意図した授業改善を進めます。

## ご家庭へのお願い

～規範意識の醸成と個性の伸長を図るために～

- ☆子どもに寄り添い、家庭での会話やふれあいを大切にして子どもの頑張りを励まし成長を褒める。
- ☆携帯電話やSNSを使用する際のルールを決めて、子どもと一緒に使用状況を確かめ合う。

## 地域へのお願い

～豊かな心を地域でも積極的に育むために～

- ☆祭りや清掃等の地域行事や地域防災訓練等への参加促しと、地域における子どもたちの貢献や活躍ができる場づくり
- ☆日常的な関わりにおける声かけや励まし、称賛